

個票 15 地域の協働による多様な生息・生育環境の維持・創出〔森 2(2)①11-1〕

(2011年作成)

配慮の視点	種の多様性への配慮	配慮項目	野生生物の生息・生育環境の保全・創出
配慮事項	多様な緑地などの保全・創出		
配慮事例	地域の協働による多様な生息・生育環境の維持・創出		
内容	<p>●地域の協働による多様な生息・生育環境の維持・創出</p>		
	<p>【解説】 市民参加による地域の自然環境の保全活動により、地域の多様な生息・生育環境を維持・創出することが可能です。このような活動では、活動を継続していくために地域でのネットワークづくりが重要です。活動の初期段階から、地域住民、行政、土地の所有者、生物の専門家など、多様な人々が参加する集まりが核となります。このような集まりの中から、活動を推進していく人たちが養成され、継続的な保全活動へとつながっていきます。</p> <p>【具体的な工法・配慮事項】</p> <p>●ネットワークづくり</p> <p>①活動の初期段階から、地域住民、行政、土地の所有者、生物の専門家など、多方面にわたる人たちによる集まりを作ることが必要です。</p> <p>②この集まりで、活動方針や整備内容などを決めていきます。</p> <p>③それぞれの人が専門分野を活かしたかわり方をすることが望めます。たとえば、大規模な整備は行政が行い、日常の整備は地域住民が行います。また、整備のための調査や計画の策定は、専門家がサポートします。</p> <p>④活動を進めていく中で、継続する活動の核となる人を養成します。</p>		

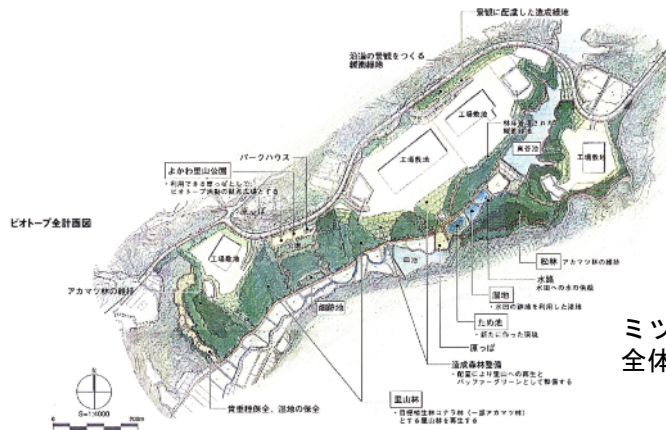
【事例】

【場所】

兵庫県三木市吉川町 ミツカンよかわビオトープ

【環境配慮の内容と方法、工法】

- ・ 工場の敷地内に棚田跡や里山林、アカマツ林、湿地ビオトープなど多様な環境が整備された。
- ・ 計画初期段階より、地域住民を含む「ビオトープ研究会」が作られ、整備計画や調査、活動プログラムづくり、イベントなどが行われた。
- ・ この会により、建設前から地域とのネットワークづくりができていた。



ミツカンよかわビオトープ
全体図



ミツカンよかわビオトープ
倶楽部の活動

出典:1

参考資料 1 「地域と企業を結ぶ里山づくり」 LANDSCAPE DESIGN LD74